

議会報告会 岡野会場報告書

担当班： 第2班 班代表者：上田 英樹

概 要			
地区名 : 岡野地区 日時 : 令和5年5月31日(水) 19:30~:21:00 場所 : 岡野文化会館 参加人数 : 17人(男16人・女1人)	【出席議員】 上田、森本、 園田、原田、 齋藤、堀毛	(1) 開会あいさつ : 上田英樹 (2) 議会報告 : 原田豊彦 (3) 質疑応答 : 各自 (4) 意見・提言等 : (5) 閉会あいさつ :	挨拶・総括 : 上田英樹 司会進行 : 森本富夫 報告 : 原田豊彦 記録 : 齋藤泰博 堀毛宏章 会場(マイク) : 園田依子

【主な質疑】

質疑・意見(第一部 議会報告について)	回 答
<p>出産・子育て応援交付金に関してだが、現在、市内の産院はタマルさんだけで、市内での出産の40パーセントと聞いている。そうすると、60パーセントは市外で出産されているということか？</p> <p>一般医療についても、市内の大きな病院の在り方について話し合いが持たれているようだが、どのような状況か？</p> <p>市民にとって、医療が一番重要なことなので、よろしく願いしたい。</p>	<p>国の妊娠・出産応援交付金については、少子化対策の一つで、市独自の10万円交付もあり、合わせて20万円が支給されます。市内の分娩医療機関はタマルさんだけで、市外では丹波市の丹波医療センターが多く、神戸市北区の病院や妊婦さんの実家近くでの出産も結構あるようです。</p> <p>一般医療については、兵庫医大と岡本病院から、ささやま医療センターと岡本病院を統合して、市立病院もしくは市の指定管理にするよう要請されていますが、市としては、財政上も経営上も無理との判断をしています。</p> <p>現在、議会としてこの件に関し、考え方を示しているわけではありません。しかし、来年度ぐらいには、何らかの結論を出す必要があるのではないかと考えています。</p> <p>尚、ささやま医療センターに、市は運営補助金を出していますし、ささやま医療センター・岡本病院・にしき記念病院には、救</p>

	<p>急医療の補助金を出して、市民の医療を守っています。</p> <p>また、この3年のコロナ禍の中、市内の病院および個人の医院には大変お世話になり感謝しています。</p>
--	----------------------------------------------------------------------------------------

質疑・意見（第二部 担い手不足について）	回答
<p>担い手不足を解決するのは現状ではなかなか困難だ。考えられるとすれば、さらなる機械化による作業の省力化などが挙げられるが。</p> <p>土地改良区のパイプラインがいつ故障してもおかしくない状況だ。故障するまでに対応してほしいが、その場合、誰が責任をもってやってくれるのか？</p>	<p>農業の担い手になってもらうためには、関係する農業施設や設備がきちんと可動することが前提です。水利のためのパイプラインが故障するようでは困りますので、施設や設備のメンテナンスや更新については、議会でも対応を考えていきたいと思います。</p>
<p>担い手不足ということだが、過日行われた地域の運動会には、例年になく多くの市職員が参加し、運営が大変スムーズにいった。</p> <p>これからも地域の行事には、地域サポート職員に多くかかわってほしい。</p> <p>もう一つは、医療介護についての担い手不足である。介護を担う働き手が非常に不足しており、このままでは介護業務が継続出来なくなる。特にケアマネジャーなどは取り合いの状態になっている。なんとか解決に向けて動いて欲しい。</p>	<p>西紀地区のスポーツ大会では、中学生のボランティアと地域サポート職員が加わり、運営が大変スムーズに進みました。ただ、当該地域在住の職員がだんだん減少しているのが気がりとなっています。</p> <p>次に介護の担い手不足についてですが、民生福祉常任委員会では、今年度、「わかたけ会」などの障がい者施設を訪問して、施設内の状況や職員数に不足がないかなどを確認し、障がい者福祉の改善につなげたいと考えています。</p> <p>高齢者施設の介護職員不足などについては、議会としても市の対応を注視していきます。</p> <p>今年度の市の目玉政策である「ワクワク農村プラン」を市長が各集落に説明にまわる際、地域サポート職員にもかかわっていただく予定としています。</p>
<p>①獣害対策としての獣害柵設置補助金について伺いたい。</p> <p>今、仮に200mの獣害柵を自分で設置すると、材料費が1mあたり2,000円なので、40万円かかるが、市の補助が85%34万円なので、個人負担は6万円ですむ。しかし、業者に設置を依頼すると、材料費・工賃込みで1mあたり3,000円となり、200mで60万円かかるが、市の補助は50%30万円、個人負担は30万円と大幅に膨らむ。</p> <p>この補助金の考え方はおかしいのではないか。個人で設置しようとする結構大変だ。業者に頼むと補助金率が大幅に減ってしまう。</p> <p>それと、もっと根本的なことを言うと、15%の個人負担さえ不公平だ。</p>	<p>①について：獣害柵の補助金については、産業建設常任委員会等で確認してもらいます。獣害柵については、鹿柵についても点検・補修について課題もあり、本議会で質問を予定しているところです。</p> <p>②について：なぜ、農業機械購入補助対象が3戸以上なのかについても、常任委員会等で市の考え方を聞きたいと思っています。</p> <p>②について：これまで集落営農を呼び掛けてきましたが、残念ながら成功例は多くありません。集落営農はもう無理ではないかという意見も強いところであり、農業への支援も大型農家対策だけでは丹波篠山の農業は守れないと、議会から何度も市に言ってきた経緯があります。</p>

<p>サルの出ないところに獣害柵はいらない。でも、同じように固定資産税を払っているのだから獣害柵の個人負担はゼロでもいいはずだ。一部の被害地域だけ負担が生じるのはおかしい。</p> <p>②市の農業は、多くの兼業農家が支えている。ところが、米作りなどに必要な農業機械の購入については、3戸以上集まらないと補助金が出ないしくみになっている。なぜ3戸以上なのか。農地の面積も違うし、使いたい日は重なるし、メンテナンスや故障時の問題など課題が多い。個人農家への補助金にすべきではないか。これでは、担い手不足は解消しない。</p> <p>平成 21 年に農都宣言をし、それから農都創造条例などができたが、丹波篠山農業の発展に活かされていない。</p>	<p>今回、3戸以上の農家で共同利用すれば、農業機械購入の 20%を補助する制度がスタートします。しかし、個人農家を対象とした補助金となると、農地の面積によって細かいメニューを組む必要もあり、とりあえず一歩前進ということでご理解いただきたいと思います。</p> <p>個人農家を守る方策を考えなければならぬとのご意見は、しっかりとつないで参ります。</p>
<p>要望：地区の福祉代表者会議で出た意見だが、高齢者の移動支援を篠山でも出来ないか。丹波市では、「コープこうべ」までのマイクロバスの送迎サービスを実施して好評と聞いている。</p>	<p>私は草山に住んでいるので、岡野地区は大変便利な場所だと思っていました。今日、認識を新たにしましたので、買い物支援の好い例として要望があったことはつないでいきたいと思います。</p> <p>地域のニーズに合った支援がいろいろ考えられますので、地元の声を聴いていきたいと思います。</p>
<p>担い手の育成だが、ここにこういう人が欲しいという適材適所の人材が必要だ。農業で言えば、新規に農業者として市内入ってこられた方に適切な指導・助言のできる方の存在が担い手を育てていくのだと思う。</p> <p>そういう意味での「マッチング」が大事だと思う。人と人を結びつけるコーディネーターの方がいて、さらに行政と地域が連携して担い手を育てる必要がある。</p>	<p>「丹波篠山つながり案内所」が出来ていますが、それらを利用して、関係人口、交流人口といわれる外部からの人材を呼び込み、地域の元気をつないでいきたいと考えています。</p>